

ラグビー部応援企画「行くぞ国立競技場！」

明治大学体育会ラグビー部は1922年(大正11)年に創部と明治大学でも歴史のある運動部です。今までにも数多くのトップ選手を輩出してきました。2024年度のスローガンは「奪還」で日本一に向けて“前へ”進んでいます。今回は伝統の早明戦を前に副将の秋濱悠太さんに取材を行いました。

第100回早明戦そして

2024年スローガン「奪還」にかける思い

秋濱 悠太
(あきはま ゆうた)
副将/CTB

・ 商学部4年
・ 1、2年はウイングを3、4年はセンターをつとめている。
・ 兄がラグビーを始めていた影響でラグビーを始める。ラグビー歴は17年。

Topic 01



第100回の早明戦というところで大事な試合になると思いますけれどもあくまで自分達の目標としているものが大学選手権優勝なのでそこにつながる試合というか、自分達が成長できる良い試合になればと思います。ここ数年、日本一を目指してきた中で自分達の中で「大学選手権優勝」という目標が常にありそれをもう一度確認し、日本一を取りにいくという気持ちを表しています。



Topic 02 試合中に大切にしていること

自分は副キャプテンという立場であり声などで引っ張れるキャラクターではないですが、だからこそ、一歩引いて余裕を持った視野で見てチームが結構焦っていく中でも冷静な判断をしていこうと心がけています。



Topic 03 ラグビーの魅力について

ポジションが多くある中でそれぞれのポジションに強みであったり良さがあるので全員が主役になれるところがラグビーの良さだったり魅力だと思います。



取材中の様子

Topic 04 試合中緊張しないために

↓試合終了後回答いただいた方からご退場ください。



アンケートフォーム



取材中の様子

あまり試合中に緊張する性格ではなく、どちらかというと試合中楽しもうというメンタルでやっているの、だからこそ大舞台などで緊張せずのびのびとプレーできていると思います。

取材記事編集者



M-Naviピアサポーターズ
政治経済学部1年

藤崎 俊哉

100回記念である早明戦に向けて選手の熱い気持ちが伝わってきます！

11月17日帝京戦観戦レポート

秩父宮ラグビー場にて開催された帝京戦をM-Naviが観戦してきました！

ラグビーワールドカップ2019でちょっとルールを学んだだけにわか、リアルラグビーを初観戦！秩父宮の門をくぐると、人、人、人で活気に満ち溢れてる。明治のテントでフラッグを購入後いざ場内へ！視線の先には広いフィールドと沢山の明治ファン。秩父宮を完全にホームにしている明治、校歌斉唱も圧巻。ついにキックオフ。ってあれ、試合中は想像以上に静か。選手の声とぶつかる体の音まで聞こえてくる。でも選手がディフェンスを抜けると大歓声。選手名やいけ！といった熱の入った応援が響く。スクラムになった時には手拍子も。帝京に3トライを決められ、苦しい中で華麗なパスから決まったトライで場内大熱狂。後半、明治は3トライを決め巻き返すが前半の差を埋められず、28-48でノーサイド。負けたものの、MIPを取った白井選手の活躍、会場の一体となった応援は現地じゃなきゃ味わえない興奮があった。悔しさを胸にいざ国立、打倒早稲田、王座奪還！（執筆：文学部2年・穴戸）



ラグビー豆知識問題

- 問1 ラグビー発祥の地は？ 問2 トライを決めた時の得点は？ 問3 ラグビーを漢字で書くと？
- | | | |
|-----------|------|-----|
| ①イギリス | ①1点 | ①庭球 |
| ②ドイツ | ②3点 | ②蹴球 |
| ③ニュージーランド | ③5点 | ③闘球 |
| ④オーストラリア | ④10点 | |

答えは下面↓

M-Naviピアサポーターズとは

コロナ禍を経て、2023年度に再発足！

明大生による明大生のための支援の輪をさらに拡大・維持することを 目指す学生部直属の団体です。多様性の尊重と包摂性を重視した活動、持続可能な社会の実現につながるプロジェクトに向けた活動を行っています。

今年度は、体同連ゴルフ部のご協力のもとでゴルフ体験企画、津軽三味線「響」・落語研究会のご協力のもとで日本文化体感企画、体育会野球部・明治大学応援団のご協力のもとで野球部応援企画を行いました。中野キャンパス・和泉キャンパスで企画を実施することで、キャンパス・学年を超えた交流を作る良い機会になりました。(執筆：商学部2年・林)



ラグビー豆知識問題答え 問1：① 問2：③ 問3：③